

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6602295号
(P6602295)

(45) 発行日 令和1年11月6日(2019.11.6)

(24) 登録日 令和1年10月18日(2019.10.18)

(51) Int.Cl.

F I

B 6 2 J 1/00 (2006.01)

B 6 2 J 1/00

A

請求項の数 20 (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願2016-525536 (P2016-525536)
 (86) (22) 出願日 平成26年10月20日 (2014.10.20)
 (65) 公表番号 特表2016-533942 (P2016-533942A)
 (43) 公表日 平成28年11月4日 (2016.11.4)
 (86) 国際出願番号 PCT/IB2014/065473
 (87) 国際公開番号 WO2015/059624
 (87) 国際公開日 平成27年4月30日 (2015.4.30)
 審査請求日 平成29年9月5日 (2017.9.5)
 (31) 優先権主張番号 VR2013A000231
 (32) 優先日 平成25年10月21日 (2013.10.21)
 (33) 優先権主張国・地域又は機関
 イタリア (IT)

前置審査

(73) 特許権者 511227118
 セレ・ロイヤル・ソシエタ・ベル・アチオ
 ニ
 SELLE ROYAL S. P. A.
 イタリア、イー36050 ポッツォレオ
 ーネ (ピチェンツァ)、ピア・ピットリオ
 ・エマヌエーレ、119
 (74) 代理人 110001195
 特許業務法人深見特許事務所
 (72) 発明者 ビゴリン、バルバラ
 イタリア、イー36050 ポッツォレオ
 ーネ (ピチェンツァ)、ピア・ピットリオ
 ・エマヌエーレ、119、セレ・ロイヤル
 ・ソシエタ・ベル・アチオニ内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 人体のための支持要素

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人体のための支持要素であって、パッド部品(3)およびベース部品または本体(2)を備え、前記ベース部品(2)は、使用時に上側の表面(2a)と使用時に下側の表面(2b)とを備え、前記パッド部品(3)は、使用時に上側の表面(3a)と、前記ベース部品(2)の前記使用時に上側の表面(2a)と係合するように設計された使用時に下側の表面(3b)とを備え、前記支持要素はさらに、

前記パッド部品(3)に対する前記ベース部品(2)の取外し可能な係留手段(7, 8, 9, 10)を備えることと、前記ベース部品(2)または前記パッド部品(3)に対する少なくとも1つの備品(5または50)の係合手段(4a, 4b, 4c, 4d)を備えることとを特徴とし、

前記係合手段(4a, 4b, 4c, 4d)は、前記ベース部品(2)の前記上側の表面(2a)と前記パッド部品(3)の前記下側の表面(3b)との間の領域において作用するかまたは動作するように意図され、

前記係合手段(4a, 4b, 4c, 4d)によって係合可能な第1の端部(5b)と、前記ベース部品(2)の前記使用時に上側の表面(2a)と前記パッド部品(3)の前記使用時に下側の表面(3b)との間の領域の外側を延在する第2の端部(5c)とを有する少なくとも1つのロッドもしくはステム部品(5a)または突起部を含む少なくとも1つの備品(5)を備えることを特徴とする、支持要素。

【請求項 2】

10

20

前記係合手段は、前記ベース部品（２）にまたは前記パッド部品（３）に形成された少なくとも１つの第１の穴または係合開口部（４ａ）を含み、前記備品（５または５０）を前記ベース部品（２）にまたは前記パッド部品（３）に固定する前記それぞれの第１の穴または係合開口部（４ａ）と係合可能な少なくとも１つのねじもしくはボルト要素（４ｂ）または結合要素も含むことを特徴とする、請求項１に記載の支持要素。

【請求項３】

前記パッド部品（３）にまたは前記ベース部品（２）に少なくとも１つのハウジングシート（６）を備え、

前記少なくとも１つのねじもしくはボルト要素（４ｂ）または結合要素は、ヘッド（４ｃ）および長手方向展開体を含むことを特徴とし、前記長手方向展開体は、使用時に、それぞれの第１の穴または係合開口部（４ａ）に取外し可能に挿入可能であり、前記ヘッド（４ｃ）は、それぞれのハウジングシート（６）に収容可能である、請求項２に記載の支持要素。

【請求項４】

前記少なくとも１つのロッドもしくはステム部品（５ａ）または突起部の前記第１の端部（５ｂ）は、少なくとも１つの第２の係合開口部（４ｆ）が設けられたプレート（４ｄ）に固定されるかまたは一体であり、前記第２の係合開口部（４ｆ）は、前記ベース部品（２）またはパッド部品（３）においてそれぞれの第１の穴または係合開口部（４ａ）と位置合せされることが意図され、前記少なくとも１つのねじもしくはボルト要素（４ｂ）または結合要素は、位置合せされた第１の係合開口部（４ａ）および第２の係合開口部（４ｆ）それぞれに挿入され、それによって前記少なくとも１つのプレート（４ｄ）と、したがって前記備品（５）とを前記ベース部品（２）または前記パッド部品（３）に固定する、請求項１～３のうちいずれか１項に記載の支持要素。

【請求項５】

前記パッド部品（３）に対する前記ベース部品（２）の前記取外し可能な係留手段は、前記ベース部品（２）と前記パッド部品（３）との間の領域の外側を延在するグリップ部分（７ａ）を含むことを特徴とし、前記グリップ部分（７ａ）は、前記ベース部品（２）と前記パッド部品（３）との間の領域の外側から係合可能であり、それにより、前記ベース部品（２）および前記パッド部品（３）が解放されるかまたは解放可能である少なくとも１つの静止位置と、前記ベース部品（２）および前記パッド部品（３）が互いに強く係留される少なくとも１つの作業位置との間での前記取外し可能な係留手段の手作業による変位を可能にする、請求項１～４のうちいずれか１項に記載の支持要素。

【請求項６】

前記取外し可能な係留手段は、

- ・前記ベース部品（２）にまたは前記パッド部品（３）において得られる係留開口部（８）に装着可能な可動部品またはキー部品（７）を備え、前記可動部品またはキー部品（７）は、ベース部品（２）とパッド部品（３）との間の領域において延在する第１の拘束手段（９）を有し、さらに、

- ・前記ベース部品（２）および前記パッド部品（３）のうちの他方にあり、前記可動部品またはキー部品（７）が前記係留開口部（８）に挿入され前記ベース部品（２）が前記パッド部品（３）と係合されると、前記第１の拘束手段（９）と係合するように意図される第２の拘束手段（１０）を備えることを特徴とする、請求項１～５のうちいずれか１項に記載の支持要素。

【請求項７】

前記可動部品またはキー部品（７）は、前記係留開口部（８）の対称軸（ $x-x$ ）を中心に前記係留開口部（８）に回転可能に装着されることを特徴とする、請求項６に記載の支持要素。

【請求項８】

前記取外し可能な係留手段は、差込み係留手段を備えることを特徴とする、請求項６または７に記載の支持要素。

【請求項 9】

前記第 1 の拘束手段は、互いに周方向に離間された複数のタブ (9 a) がそこから延在するタング (9) を含み、

前記第 2 の拘束手段は、それぞれの歯もしくは突起がそこから延在するか、または前記タブ (9 a) と係合するように意図される溝が形成されるスリーブ要素 (1 0) を含むことを特徴とする、請求項 6 ~ 8 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

【請求項 1 0】

前記取外し可能な係留手段は、迅速取付構造体を含むことを特徴とする、請求項 6 ~ 9 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

【請求項 1 1】

前記可動部品またはキー部品 (7) は、前記迅速取付構造体を含むことを特徴とする、請求項 1 0 に記載の、かつ請求項 6 から 9 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

【請求項 1 2】

前記可動部品またはキー部品 (7) はグリップ部分 (7 a) を含み、前記迅速取付構造体は前記グリップ部分 (7 a) 上に形成されることを特徴とする、請求項 1 1 に記載の支持要素。

【請求項 1 3】

前記可動部品またはキー部品 (7) は本体またはメインプレート (7 b) を含み、前記第 1 の拘束手段 (9) は、前記本体またはメインプレート (7 b) の使用時に上側の表面から上方に突出し、前記グリップ部分 (7 a) は前記本体またはメインプレート (7 b) の使用時に外側である他方の表面から突出し、前記グリップ部分 (7 a) は、迅速取付構造体の雌部であるように意図される貫通開口部 (1 1) を区切るブリッジ要素を含むことを特徴とする、請求項 1 2 に記載の支持要素。

【請求項 1 4】

前記可動部品またはキー部品 (7) の前記本体 (7 b) は、接続手段 (1 3 , 1 4) によって前記係留開口部 (8) において所定の位置に係留可能であることを特徴とする、請求項 1 3 に記載の支持要素。

【請求項 1 5】

前記係留開口部 (8) が形成されるかまたは区切られる前記ベース部品 (2) の前記上側の表面 (2 a) または前記パッド部品 (3) の下側の表面 (3 b) から、くぼんだシート (1 6) と形状係合するように意図され、前記パッド部品 (3) および前記ベース部品 (2) のうちの他方上に形成された管状壁セクション (1 5) が前記係留開口部 (8) の周りに延在することを特徴とする、請求項 6 ~ 1 4 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

【請求項 1 6】

前記係留開口部 (8) が形成されるかまたは区切られる前記ベース部品 (2) の前記上側の表面 (2 a) または前記パッド部品 (3) の下側の表面 (3 b) から、前記可動部品またはキー部品 (7) と係合し、それによって前記ベース部品 (2) または前記パッド部品 (3) それぞれからの離脱または分解を防ぎつつ前記軸 (x - x) の周りを前記可動部品またはキー部品 (7) が回転することを可能にするように意図される複数の角度をなし、前記係留開口部 (8) が、前記ベース部品 (2) と前記パッド部品 (3) との間の領域の内側に向かって延在することを特徴とする、請求項 6 ~ 1 5 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

【請求項 1 7】

前記パッド部品 (3) の下側の表面 (3 b) からまたは前記ベース部品 (2) の上側の表面 (2 a) から前記支持要素 (1) の前部 (F) または後部 (R) に向かって突出する少なくとも 1 つの舌 (2 1) を備え、前記舌 (2 1) は、前記ベース部品 (2) と前記パッド部品 (3) との相対的な摺動によって、前記ベース部品 (2) の前記上側の表面 (2 a) および前記パッド部品 (3) の前記下側の表面 (3 b) のうちの他方に形成されたシート (2 2) と係合可能であることを特徴とする、請求項 1 ~ 1 6 のうちいずれか 1 項に

10

20

30

40

50

記載の支持要素。

【請求項 18】

車両、自転車またはオートバイのためのサドルを備えることを特徴とする、請求項 1 ~ 17 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

【請求項 19】

前記ベース部品(2)は、寸法および/または形状が互いに異なる複数のパッド部品(3)と組合わせて、かつ前記複数のパッド部品(3)に拘束されて使用されることができるような構造および構成を有し、したがって同じ前記ベース部品(2)から始まる異なる種類の支持要素を得ることが可能であることを特徴とする、請求項 1 ~ 18 のうちいずれか 1 項に記載の支持要素。

10

【請求項 20】

少なくとも 1 つのベース部品(2)と、

互いに異なる形状および/または寸法を有する少なくとも 2 つのパッド部品(3)とを備え、

各パッド部品には、前記ベース部品(2)に対して取外し可能な係留手段が設けられることを特徴とする、請求項 19 に記載の支持要素の実現のためのキット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

発明の技術分野

20

本発明は、車両、たとえば自転車、オートバイ、または他の車両のためのサドルなどの、人体のための支持要素に関する。

【背景技術】

【0002】

従来の技術水準

自転車のための多くのサドルが今日の時点で提案されており、いわゆる ICS (一体型クリップシステム) 部品、つまりバッグなどの備品をサドルと係合するかまたは係留するための溝などを区切る部品も任意に設けられる。

【0003】

自転車のフレームに通常は直接固定可能であるかまたは拘束可能である本体と、本体に固定され、本体よりも柔らかい材料からなるパッドとが設けられたサドルも提案されている。

30

【0004】

しかしながら、これまで提案されてきたサドルはあまり組立てが容易ではなく、それぞれの組立方法は非常に面倒である。

【0005】

また、ICS を前記サドルに設けることは困難かつ費用がかかる。

国際公開第 2007031943A1 号、欧州特許出願公開第 2052955A2 号、および国際公開第 2007034422A1 号は技術水準に係るサドルを教示している。

【発明の概要】

40

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

発明の目的

本発明の技術的課題は、したがって上記の欠点がないサドルなどの、人体のための支持要素を考案することによって、技術水準を向上させることである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記技術的課題の範囲内において、本発明の目的は、容易にかつ迅速に組立てられ交換されるサドルを考案することである。

【0008】

50

本発明の別の目的は、容易にかつ確実に組立てられるサドルを提供することである。

本発明のさらなる目的は、１つ以上の備品を安定して係留するかまたは拘束することが可能なサドルを提供することである。

【０００９】

本発明のさらなる目的は、破壊行為および窃盗によって起こされる損傷を回避するかまたはいずれにせよ制限することが可能なサドルを提供することである。

【００１０】

本発明の別の目的は、摩耗部分または破損部分を容易に交換することが可能であり、したがってより環境に優しいサドルを提供することである。

【００１１】

発明の一態様によれば、請求項１に記載の支持要素が提供される。

従属請求項は、発明の好ましくかつ有利な実施例を表す。

【００１２】

図面の簡単な説明

発明の他の特徴および利点は、添付の図面の図示として例示される支持要素の実施例の説明からより明らかとなる。

【図面の簡単な説明】

【００１３】

【図１】本発明に係るサドルの部品のやや上からの分解斜視図である。

【図２】図１と同様であるが備品のないサドルの図である。

【図３】図２のサドルの部品のやや下からの分解斜視図である。

【図４】図２のサドルのベース部品または本体のやや上からの斜視図である。

【図５】図４の細部の拡大図である。

【図６】図４のベース部品または本体の細部のやや下からの斜視図である。

【図７】本発明に係る支持要素のそれぞれの変形例のやや下からの分解した斜視図である。

【図８】本発明に係る支持要素のそれぞれの変形例のやや下からの分解した斜視図である。

【図９】本発明に係るパッド部品の平面図である。

【図１０】本発明に係るパッド部品のやや下からの斜視図である。

【図１１】本発明に係る支持要素のベース部品の平面図である。

【図１２】本発明に係る支持要素のベース部品のやや上からの斜視図である。

【図１３】本発明に係る支持要素の可動またはキー部品の平面図である。

【図１４】本発明に係る支持要素の可動またはキー部品の斜視図である。

【図１５】本発明に係る支持要素の可動またはキー部品の側面図である。

【図１６】本発明に係る支持要素の可動またはキー部品の正面図である。

【図１７】本発明に係る支持要素の別の実施例の細部の底面図である。

【図１８】図１７の細部を示す図である。

【図１９】図１７の細部の上面図である。

【図２０】図１９の線ＸＸ－ＸＸに沿った断面図である。

【図２１】図１７のロック／ロック解除手段の上面斜視図である。

【図２２】図１７のロック／ロック解除手段の底面斜視図である。

【図２３】図１７のキー部品の上面斜視図である。

【図２４】図１７のキー部品の底面斜視図である。

【図２５】本発明に係る支持要素の底面図である。

【図２６】図２５の支持要素の断面図である。

【図２７】図２５の支持要素の部品の細部を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【００１４】

添付の図面において、同一の部分または部品は同じ参照番号によって識別される。

10

20

30

40

50

発明の実施例

図を参照して、車両、たとえば自転車またはオートバイのためのサドルなどの、人体のための支持要素 1 が例示される。

【 0 0 1 5 】

支持要素 1 は、たとえば、自転車またはオートバイのフレームに拘束可能なベース部品または本体 2 と、パッド部品 3 とを含む。支持要素 1 が周知のように自転車のためのサドルである場合、端部で接続された 1 対の棒または枝によって形成される U 字型の部品を通常含むいわゆる「レール」またはフォーク部品を、ベース部品 2 とフレームとの間に介在させ得る。

【 0 0 1 6 】

ベース部品 2 は、使用時に上側または内側の表面 2 a と、使用時に下側または外側の表面 2 b とを含み、パッド部品 3 は、使用時に上側または外側の表面 3 a と、使用時に下側または内側の表面 3 b とを含み、表面 3 b は、たとえば表面自体に重なるかまたは接触することによって、使用時にベース部品または本体 2 の上側の表面 2 a と係合することが意図される。

【 0 0 1 7 】

ベース部品 2 の表面 2 a および 2 b ならびにパッド部品 3 の表面 3 a および 3 b は、実質的に一致し、かつ / または補足的な形状を有する。

【 0 0 1 8 】

好ましくは、ベース部品 2 の上側表面 2 a は、パッド部品 3 の下側表面 3 b のように実質的に構成され、したがって、支持要素 1 が組立てられると、これらは全延長部分について互いに係合可能であるかまたは当接可能である。

【 0 0 1 9 】

支持要素 1 がサドルである場合、パッド 3 の上側表面 3 a は、好ましくは、実質的に自由であり、ユーザのための座面を構成することが意図される。この点に関して、たとえば革または他の天然もしくは合成材料からなるカバーによって全体的にまたは部分的にパッド部品 3 を覆うこともできる。

【 0 0 2 0 】

好ましくは、パッド部品 3 は軟性材料からなり、特にベース部品 2 よりも柔かい。たとえば、パッドは、ウレタンフォーム、エラストマー材料などといった材料からなることができる。

【 0 0 2 1 】

また、柔軟性、弾性、および / またはパッド部品 3 とは異なる色および / または物理的もしくは粘弾性特性を有する 1 つ以上の挿入物をパッド部品 3 に埋め込むことができる。

【 0 0 2 2 】

パッド部品 3 は、剛性材料、たとえば、発泡体またはより柔かい材料を貼付けることができるプラスチックからなるベースも有することができる。

【 0 0 2 3 】

支持要素 1 は、その場合、パッド部品 3 に対するベース部品 2 の取外し可能な係留手段を含み、したがってベース部品 2 およびパッド部品 3 を容易にかつ迅速に、組立てかつ分解することが可能である。

【 0 0 2 4 】

好ましくは、本発明に係る支持要素 1 は、ハンドル 5 (特に図 1 参照) または保護部品 5 0 などといった備品の係合手段 4 a , 4 b , 4 e を含み、係合手段は、ベース部品または本体 2 とパッド部品 3 との間、より望ましくはベース部品 2 の上側表面 2 とパッド部品 3 の下側表面 3 b との間の領域において、作動するかまたは動作することが意図される。備品は、上記のように、ハンドル、保護部品、ライト、または他の要素を含むことができる。

【 0 0 2 5 】

係合手段は、たとえば、ベース部品 2 にまたはパッド部品 3 に形成された貫通もしくは

10

20

30

40

50

非貫通孔または開口部である１つ以上の第１の穴もしくは係合開口部４aを含むことができ、備品５または５０をベース部品２またはパッド部品３に固定するように、それぞれの第１の穴または係合開口部４aに各々係合可能な１つ以上のねじもしくはボルト要素４bまたは結合要素も含む。備品の固定は、開口部４aと係合可能な自己タッピングねじによって得ることもできる。

【００２６】

また、ベース部品２とパッド部品３とのうちの他方の第１の係合開口部４aに挿入されたねじまたはボルト４bのヘッド４cのために、ハウジングシート６をパッド部品３にまたはベース部品２に設けることができる。ねじまたはボルト４bの主な展開体（図では見えない）は、その代りに、たとえばそれぞれの穴または開口部４aにねじ込むことによって、取外し可能に挿入することができる。

10

【００２７】

本発明に係る支持要素は、好ましくは、係合手段４a、４bによってベース部品２もしくはパッド部品３と係合可能な第１の端部５bと、ベース部品２の上側表面２aとパッド部品３の下側表面３bとの間の領域の外側、またはいずれにせよ該領域の遠位において延在する他方または第２の端部５cとを有するロッドもしくはステム部品５aまたは突起部分を含む備品５を含む。ロッドもしくはステム部品５aまたは突起部分は、図示したものと異なるやり方で形作られてもよい。

【００２８】

図１に例示される実施例を特に参照して、備品は、接続要素５dによって架橋された２つのロッドまたはステム５aを有する実質的にＵ字型のハンドル５を含む。

20

【００２９】

ハンドル５は、柔かいグリップ要素で覆われることができる。

ベース部品２には、その場合、好ましくはその下側表面２aにおいてフォーク部品またはレールＲＡ（図２５参照）のための取付け手段、たとえばレールＲＡの先端を挿入するためにベース部品２の前方におけるフォークＲＡおよびシート２dの長さに対してそれぞれの開口部を区切る２つの突出ブロック２cをベース部品２の背部に設けることができる。

【００３０】

発明の一形式において、各ロッド５aの端部５bをプレート４dに固定する（たとえば接着または溶接する）ことができ、プレート４dには、ベース部品２またはパッド部品３のそれぞれの穴または係合開口部４aと各々位置合せされることができる１つ以上の第２の係合開口部４fが設けられる（特に図７および図８参照）。そのような位置合せステップ後、ボルトまたはねじ４bが、このように位置合せされた開口部（４aおよび４f）に挿入され、それによって各プレート４d、さらにロッド５aおよび備品５または５０それぞれをベース部品２またはパッド部品３に固定する。

30

【００３１】

発明のさらなる一形式において、各ロッド５aの端部５bは上記のプレート４dと一体とすることができる。

【００３２】

40

また、各ロッド５aの端部５bとそれぞれのプレート４dとの間には、端部５bおよびプレート４dのエッジより寸法が大きく、ベース部品２およびパッド部品３が互いに組立てられた時にプレート４dにおいてベース部品２とパッド部品３との間の間隙の一部を覆い取囲むことが意図されるボスまたはマスク要素５fを設けることができる（ロッド５aおよびプレート４dに固定されるかまたは固定可能である）。

【００３３】

変形例（図２～図４参照）によれば、備品は、図１を参照して上記したものと全く同様に、それぞれのプレート４dがそこから任意に横切って延在する（側面）保護部品５０を含む。図に例示される具体的かつ非限定的な実施例を参照して、支持要素は、一方が支持要素の一方側に、他方が反対側に配置された２つの保護部品５０を含む。

50

【 0 0 3 4 】

図 7 を参照して、複数の備品が設けられた支持要素、たとえば上に示されるように固定されたハンドル 5 および保護部品 5 0 が例示される。この点に関して、任意に、ハンドル 5 の同じ係合穴 4 a および同じボルト 4 b によって各保護部品 5 0 を固定することができる。

【 0 0 3 5 】

プレート 4 d または各プレート 4 d をベース部品 2 上に正確かつ迅速に位置決めするために、ベース部品 2 に切欠きまたは溝を設けることができ、そこにプレート 4 d のリリーフ部分 4 e を挿入可能である、たとえば嵌合挿入可能である。代替的に、プレート 4 d は、ベース部品 2 またはパッド部品 3 のくぼんだ部分と位置合わせ可能な開口部 4 g (特に図 7 および図 8 参照) を含むことができる。

10

【 0 0 3 6 】

ベース部品 2 およびパッド部品 3 が組立てられた時、それぞれのプレート 4 d を形状結合し、かつ受取るために、1 つ以上の下げられた領域 3 c を代りにパッド部品 3 において区切ることができる。プレート 4 d または各プレート 4 d がリリーフ部分 4 e を含むか、またはくぼんだ部分が上記のように設けられると、パッド部品 3 からブロック部品 3 d が突出することができる。ブロック部品 3 d は、ベース部品 2 およびパッド部品 3 が組立てられた時に、プレート 4 d のそれぞれのくぼんだもしくは下げられた部分 4 e または部品 2 もしくは 3 のくぼんだ部分に挿入されるかまたは形状係合されることが意図される。

20

【 0 0 3 7 】

また、ブロック部品 3 d が設けられる場合、ブロック部品 3 d は、パッド部品 3 をベース部品 2 に対して中心決めする役割を有する以上に、支持要素の全体に対してさらに増大した安定性を提供することができ、したがって 2 つの部品 2 および 3 の相互の長手方向の並進移動を妨げる。

【 0 0 3 8 】

当然、理解されるようにかつ上記したように、任意に、記載したプレート 4 d によって備品 5 または 5 0、たとえばロッド 5 a をそれに拘束するために、第 1 の係合開口部 4 a をパッド部品 3 に形成することができる。この場合、下げられた領域 3 c、ハウジングシート 6、およびくぼんだまたは下げられた部分 4 e は、ベース部品もしくは本体 2 に形成することができるか、またはそこから延在することができる。

30

【 0 0 3 9 】

理解されるように、備品は、そのような部品 2, 3 の間で、またはより望ましくはそれぞれの上側表面 2 a と下側表面 3 b との間で別のやり方でも動作する係合手段によって、ベース部品 2 およびパッド部品 3 に拘束され得る。たとえば、備品のまたはそのロッドの端部をベース部品 2 とパッド部品 3 との間に配置して、そのような部品 2, 3 を互いに締付けることによって備品 5 を所定の位置にブロックし得る。この点に関して、備品の端部は、ベース部品 2 のおよび / またはパッド部品 3 のそれぞれの部分と形状係合するように形作り得る。任意に、備品の端部には、ベース部品 2 および / またはパッド部品 3 のスロットとまたは突出部分とそれぞれ形状係合するように意図される突起または穴があり得る。

40

【 0 0 4 0 】

なお、パッド部品 3 は、特にベース部品 2 とパッド部品 3 との間の接続の領域において、かつ実質的に任意の備品を受取る高さまたは厚みについて圧縮可能であってもよく、したがって備品が設けられていなくても、ベース部品 2 とパッド部品 3 との間において、好適かつ実質的に補足的な結合が保証される。この手段により、備品なしでサドルが組立てられると、後者の接続の点において隙間が目に見える。当該隙間は、理解されるように、顕著な見苦しい作用をもたらすことになる。

【 0 0 4 1 】

支持要素 (特に図 7 および図 8 参照) は、たとえば硬質プラスチックまたは同様の材料からなり、使用時にベース部品 2 のレールおよび一部を取囲みかつ覆うように意図される

50

カバーまたはフレーム部品 12 も含むことができる。

【0042】

パッド部品 3 に対するベース部品 2 の取外し可能な係留手段に関して、それらは好ましくはグリップまたは捕捉部分 7a を含む。グリップまたは捕捉部分 7a は、たとえばベース部品 2 の下側表面 2b またはパッド部品 3 の上側表面 3a において、ベース部品 2 とパッド部品 3 との間の領域の外側を延在するかまたは外側から係合可能であり、ベース部品 2 およびパッド部品 3 が解放されるかまたは解放可能である少なくとも 1 つの静止位置（たとえば図 6 参照）と、ベース部品 2 およびパッド部品 3 が互いに堅く係留される少なくとも 1 つの作業位置（たとえば図 3 参照）との間での取外し可能な係留手段の手作業による移動を可能にする。グリップまたは捕捉部分 7a の存在により、オペレータまたはユーザは、したがって、ドライバーなどといった工具の必要なしに、取外し可能な係留手段を作動させることができる。

10

【0043】

また、取外し可能な係留手段は、以下にさらに記載されるように、1 つ以上の迅速取付構造体すなわち ICS を含むことができる。

【0044】

好ましくは、取外し可能な係留手段は、

- ・たとえば開口部 8 の対称軸 $x-x$ を中心として係留開口部 8 に装着可能な、たとえば回転可能に装着された可動またはキー部品 7 を含み、当該開口部は、ベース部品 2 においてまたはパッド部品 3 において得られ、キー部品 7 は、ベース部品 2 とパッド部品 3 との間の領域に延在する第 1 の拘束手段 9 も有することができ、さらに、
- ・パッド部品 3 とベース部品 2 とのうちの他方にある第 2 の拘束手段 10 を含み、第 2 の拘束手段 10 は、キー部品 7 がそれぞれの係留開口部 8 に挿入され、ベース部品 2 がパッド部品 3 と係合されると、第 1 の拘束手段 9 と係合するように意図される。

20

【0045】

この点に関して、取外し可能な係留手段は、差込み係留手段を含むことができる。

理解されるように、キー部品 7 を開口部 8 の長手軸 $x-x$ に沿って挿入することもでき、したがって軸 $x-x$ を中心として回転可能ではない。そのような場合、キー部品 7 は、制御手段、たとえばブライヤーなどを有することができ、該制御手段は、ベース部品 2 にまたはパッド部品 3 に形成された係留開口部 8 に挿入可能な部分に延在する対応する第 1 の拘束手段の変位を制御するように意図され、かつパッド部品 3 またはベース部品 2 の他方において、対応する第 2 の拘束手段と係合するように意図される。

30

【0046】

第 1 の拘束手段は、そこから複数のタブ 9a が延在し、周方向に互いに離間され、タング 9 の一方のエッジから他方のエッジまで螺旋状の形態であるタングまたはブッシング 9 をたとえば含むことができる。第 2 の拘束手段は、それぞれの歯もしくは突起がそこから延在するかまたは溝が形成され、恐らく差し込みピンのようにタブ 9a と係合するように意図されるスリーブ要素 10 を含むことができる。タブ 9a および歯または突起は、好ましくは弾力的に製造可能である。

【0047】

好ましくは、タング 9 およびスリーブ 10 の両方は、支持要素が組立てられた時に軸 $x-x$ に対応する長手軸を有する管状要素を含む。

40

【0048】

キー部品 7 はまた、迅速取付構造体すなわち ICS を含むことができる。この点に関し、キー部品 7 は、（メインプレート 7b）第 1 の拘束手段 9 がそこから延在する使用時に内側の表面から出発する任意に実質的に平坦な本体またはメインプレート 7b を含むことができ、使用時に他方の外側の表面からグリップ部分 7a が突出し、該グリップ部分は、ICS の雌部として作用することができる開口部、好ましくは貫通開口部 11 を区切るブリッジ要素を含むことができる。

【0049】

50

キー部品 7 の本体 7 b は、ベース部品 2 またはパッド部品 3 の係留開口部 8 において、たとえば接続手段 1 3 , 1 4 によって所定の位置に係留可能である。

【 0 0 5 0 】

接続手段 1 3 , 1 4 は、たとえばスナップ接続手段である。

接続手段は、キー部品 7 の外壁またはエッジから延在する 1 つ以上の（図では 2 つの）つまみ 1 3 を含むことができ、つまみ 1 3 は、開口部 8 において区切られたそれぞれのくぼんだまたは揺りかご状のセクション 1 4 （図では 4 つ）と係合するように意図される。

【 0 0 5 1 】

特に、たとえば互いに 90° で角度をなして離間された 4 つのくぼんだセクション 1 4 をたとえば設けることができ、たとえば 180° の角度をなして離間された 2 つのつまみ 1 3 は、それぞれのくぼんだセクション 1 4 と係合するように意図され、したがってキー部品は、いくつかの動作位置、たとえば 1 つの作業位置および 1 つの静止位置においてベース部品 2 またはパッド部品 3 に固定されることができる。

【 0 0 5 2 】

可動部品 7 の本体 7 b は、たとえば、対称軸を中心とする回転体のように構成されることができ、該軸は、組立位置では軸 x - x と実質的に一致する。この場合、本体 7 b は、一方の使用時に最も外側から他方の使用時に最も内側に、ベース、たとえば環状の壁 7 c を有することもでき、壁 7 c は、そこから第 1 の拘束手段 9 が延在されるブロック 9 b を挿入するための穴または開口部を区切り、次いで実質的に円筒状の壁 7 d がベース壁 7 c の外縁から延在し、フランジ付セクション 7 e で終わり、つまみ 1 3 がその外縁から延在する。

【 0 0 5 3 】

ベース壁 7 c は、上記のように、ブロック 9 b の雄ねじ部分との係合のための雌ねじ穴または開口部を区切ることができる。当然、ブロック 9 b は本体 7 b と一体とされ得るか、または別のやり方で、たとえばスナップ結合手段を介してもしくは嵌合挿入などによって本体 7 b に係留され得る。

【 0 0 5 4 】

グリップ部分 7 a が存在する場合は、ベース壁 7 c の使用時に外側の表面から始まり、円筒壁 7 d の反対の方向に延在することができる。

【 0 0 5 5 】

発明の一形式において、キー部品 7 を位置決めするために開口部 8 が形成されるかもしくは区切られるベース部品 2 の上側表面 2 a またはパッド部品 3 の下側表面 3 b から、好ましくは係留開口部 8 の周りに、たとえばわずかに切頭円錐形の管状壁 1 5 のセクションが延在し、該セクションは、パッド部品 3 とベース部品 2 とのうちの他方の上に得られるくぼんだシート 1 6 と形状係合するように意図される。

【 0 0 5 6 】

キー部品 7 を位置決めするために開口部 8 が形成されるかもしくは区切られるベース部品 2 の上側表面から、またはパッド部品 3 の下側表面から始まり、ベース部品 2 とパッド部品 3 との間の領域の内側に向かって、角度をなして離間された複数の止め歯 1 7 が延在し、止め歯 1 7 は、可動部品 7 と係合して、ベース部品 2 またはパッド部品 3 からの可動部品の離脱または分解を防ぎつつ、可動部品が軸 x - x を中心として回転することを可能にするように意図される。

【 0 0 5 7 】

特に、係留開口部 8 は、ベース部品 2 またはパッド部品 3 それぞれの内側から外側まで、実質的に円筒状のセクション 1 8 を含み、円筒状のセクション 1 8 は、任意に管状壁 1 5 によって区切られ、くぼんだもしくは揺りかご状のセクション 1 4 をそこに得ることができる、次いで、止め歯 1 7 がそこから延在されることができ、軸 x - x に関してわずかに傾けることができる横断壁 1 9 を含む。この点に関し、止め歯は、たとえば、横断壁 1 9 に拘束される、軸 x - x から遠い端部と、軸 x - x に近いまたは近接している自由端とを有する。止め歯 1 7 の自由端は、軸 x - x を横切るかまたは直交する面において、く

10

20

30

40

50

ぼんだセクション 14 と実質的に面一であるかまたは位置合せされる。また、くぼんだセクション 14 は、それぞれの実質的に円筒状のセクション 18 に対して、2 つの径方向拡大部分 14 a によって区切られることができる。

【0058】

好ましくは、止め歯のない軸 x - x のまわりに 1 つ以上の円周セクションが設けられ、該セクションは、ベース部品 2 およびパッド部品 3 が安定して係留される作業位置に可動部品がある時に 1 つ以上のそれぞれのつまみ 13 を受取るように意図されるくぼんだセクション 14 の展開セクションに対応する。

【0059】

止め歯 17 または望ましくはそれぞれの自由端は、フランジ付セクション 7 e の直径より小さく、かつ任意につまみ 13 間または後者の自由端 13 a 間の距離よりも小さい半径で円周に沿って位置合せされる。そのような構成により、可動部品 7 がベース部品 2 またはパッド部品 3 それぞれに組立てられると、止め歯 17 によって可動部品 7 の回転が可能となるが、可動部品 7 が開口部 8 から出ることは可能とならない。

【0060】

ベース部品 2 またはパッド部品 3 によって区切られ、キー部品 7 を収容するかまたは係合するように意図される開口部 8 は、特に後者が後者の実質的に拡大された後部領域においてサドルを含む場合、支持要素 1 の後部領域に区切ることができる。

【0061】

支持要素は、パッド部品 3 の下側表面 3 b からまたはベース部品 2 の上側表面 2 a から、支持要素の前部 F または後部 R に向かって突出する少なくとも 1 つの舌 21 を含むこともでき、舌 21 は、ベース部品 2 とパッド部品 3 との相対的な摺動により、ベース部品 2 の上側表面 2 a およびパッド部品 3 の下側表面 3 b のうち他方に形成されたシート 22 と係合可能である。支持要素がサドルを含む場合、舌 21 およびそれぞれのシート 22 は、ベース部品 2 およびパッド部品 3 の先細りになった前部部分において得られる。

【0062】

ベース部品 2 において、かつその中間部分において、長手貫通溝 23 を得ることもできる。

【0063】

任意に、作業位置にある取外し可能な係留手段の安全ロック / ロック解除手段を支持要素に設けることができる。そのような安全ロック / ロック解除手段は、たとえば、迅速取付構造体に、かつ支持要素の部品のうちの 1 つに挿入可能なピンまたはプラグを含み得る。

【0064】

図 17 ~ 図 24 に例示される非限定的な実施例を特に参照して、ロック / ロック解除手段 31 はベースプレート 31 a を含み、そこからピンまたはプラグ 31 b が延在し、ピンまたはプラグ 31 b は、キー部品 7 に形成されたシート 7 f 内に挿入されることができ、キー部品 7 のフォイル部分 7 g、たとえば弾性の、任意に湾曲した部分をロック位置からロック解除位置に移動させるように意図される。フォイル部分 7 g は、実質的に円筒状の壁面 7 d から延在し、これにおいて得られるウィンドウ内に先端または端部が摺動可能に装着されることができる。本質的に、ロック / ロック解除手段 31 が設置されるかまたは挿入されると、フォイル部分 7 g を押圧するかまたは変位させ、その先端もしくは自由端を、止め歯 17 間の中間領域またはいずれにせよ開口部 8 の壁面に対する係合から、実質的に円筒状の壁面 7 d に形成されたそれぞれのウィンドウに向かってかつその内部に戻し、したがって、キー部品 7 を作業位置から静止位置に回転させることが可能である。代わりにロック / ロック解除手段が取外されると、フォイル 7 g は停止位置にスナップ嵌めされ、それぞれの先端が止め歯 17 の間に挿入されるか、またはいずれにせよ開口壁 8 に当接され係合し、その位置では、キー部品 7 は作業位置から静止位置に回転することができず、したがって、ベース部品 2 およびパッド部品 3 を解放することは可能ではない。当然、ロック / ロック解除手段が係合または挿入されなくても、ベース部品 2 およびパッド部

10

20

30

40

50

品 3 は互いに固定されるかまたは接続されることができる。

【 0 0 6 5 】

ロック手段 3 1 はまた、ピンまたはプラグ 3 1 b がそこから延在する面に対向するベースプレート 3 1 a の面から延在するハンドル部分 3 1 c も含むことができる。

【 0 0 6 6 】

本発明に係る支持要素 1、たとえばサドルの組立のために、ベース部品 2 の上側表面 2 a とパッド部品 3 の下側表面 3 b とを、たとえば実質的に平行に、当接位置合せまたは接触させ、次いで、ベース部品 2 およびパッド部品 3 を取外し可能に係留するように、取外し可能な係留手段が駆動される。取外し可能な係留は、好ましくは手作業で行われる。

【 0 0 6 7 】

1 つ以上の備品 5 または 5 0 が設けられる場合は、ベース部品 2 とパッド部品 3 との間で作動するかまたは動作する係合手段によって上記のように固定されることができる。この場合、ベース部品 2 およびパッド部品 3 の当接または接触位置合わせの前に、プレート 4 d が設けられる場合は、任意にねじ込みにより、たとえばボルトもしくはねじ 4 b を介してまたは別の手段によって、ベース部品 2 またはパッド部品 3 に固定される。

【 0 0 6 8 】

取外し可能な係留手段を参照して、可動部品 7 が設けられる場合は、ベース部品 2 およびパッド部品 3 が接触または関連付けられた動作位置に導かれると、たとえば可動部品 7 を回転させ、かつたとえば軸 x - x を中心にグリップ部分 7 a に対して手作業で作用することによって可動部品 7 が駆動される。代替的に、キー部品 7 は、軸 x - x に沿って開口部 8 に長手方向に挿入され得る。

【 0 0 6 9 】

また、ベース部品 2 およびパッド部品 3 の当接の前に、キー部品 7 を係留開口部 8 に装着することができる。この点に関し、キー部品 7 は、ベース部品 2 またはパッド部品 3 の外側から、任意にベース部品 2 の下側表面 2 b またはパッド部品 3 の上側表面 3 a から開口部 8 の内部に挿入されて、突出するか、または他方の表面、つまりベース部品 2 の上側表面 2 a またはパッド部品 3 の下側表面 3 b によって係合可能となり得る。

【 0 0 7 0 】

そのようなステップ中に、キー部品 7 および係留開口部 8 が上記のように作製されると、キー部品 7 は、つまみ 1 3 がそれぞれの揺りかご状の部分 1 4 に対して角度をなしてオフセットされた状態でまず開口部 8 に挿入される。この時点で、ベース部品 2 およびパッド部品 3 が組立てられており、それぞれの表面 2 a および 3 b が当接されると、そのような部品 2、3 を取外し可能に係留するために、オペレータまたはユーザは、外側から可動部品 7 に対して、たとえばグリップ部分 7 a に対して作用し、可動部品 7 の回転、第 1 の拘束手段 9 と第 2 の拘束手段 1 0 との係合、およびそれぞれの揺りかご状部分 1 4 に到達しそれに挿入されるまでのつまみ 1 3 の角変位を推進する。

【 0 0 7 1 】

また、これらのステップの前に、ベース部品 2 およびパッド部品 3 のうちの一方において、ベース部品 2 およびパッド部品 3 のうちの他方に形成されたシート 2 2 との摺動係合のために 1 つ以上の舌 2 1 が設けられると、各舌 2 1 は、まずそれぞれのシート 2 2 に挿入され、次いでベース部品 2 の上側表面 2 a の残りの部分（たとえば後部 R）がパッド部品 3 の下側表面 3 b と当接される。

【 0 0 7 2 】

本発明に係る支持要素は、その場合、互いに異なる、特に寸法および/または形態が異なる複数のパッド部品 3 と組合せて使用され、それに拘束されることができるような構造および構成を有するベース部品 2 を含むことができる。特に図 2 5 ~ 図 2 7 参照。

【 0 0 7 3 】

この手段により、たとえば、すべてのまたは多くの種類のパッドをその上に拘束することができる標準的なベース部品 2 を提供することができ、したがって、同じベース部品 2 から始まり、所望のすべての種類のパッドを有するいずれかの種類の支持要素、特にサド

10

20

30

40

50

ルを得ることが可能である。

【0074】

本発明によれば、上に示されるような支持要素の実現のためのキットも次いで提案され、該キットは、少なくとも1つのベース部品2と、互いに異なる形態または寸法を有する2つ以上のパッド部品3とを含み、各パッド部品には、ベース部品2に取外し可能に係留するための取外し可能な係留手段が設けられる。

【0075】

この点に関し、パッド部品3は、ベース部品2に関して横方向に、かつ/または後部に、かつ/または前部に突出することができ、パッド部品3の使用時に下側の表面3bは、ベース部品2の使用時に上側の表面2aより大きく、それを越えて延在することが有利である。この場合、係合手段は、パッド部品3の中心または中間領域において有利に得られることになり、したがって、パッド部品3がベース部品より大きな幅で、またはいずれにせよベース部品から突出する状態で、ベース部品2とパッド部品3とを取外し可能に係留することが可能である。

10

【0076】

図25～図27に例示される実施例によれば、パッド部品3の使用時に下側の表面3bはベース部品2の使用時に上側の表面2aよりも大きく、側面のセクション3f1、3f2とパッド部品3の後部のセクション3gとを越えて延在することができる。パッド部品3の下側表面3bは、自己担持または自己支持となるように特にそのセクション3f1、3f2、3gにおいてベース部品2に関して使用時に突出する、断面がC字状の構成を任意に有することができる。

20

【0077】

また、上記のように、パッド部品3は、使用時に下側でありパッド部品3の下側表面3bを区切る剛性材料からなるベースすなわち第1の剛性支持層24aと、任意の発泡体からなり、第1の層24aに接続され、使用時にユーザと接触するパッド部品3の上側表面3aをその自由面において区切るように意図される第2の軟性層24bとを含むことができる。第2の軟性層24bは、たとえば、成型、任意に射出成形もしくは注型成型されるか、または第1の剛性層24a上に接着されることができ、逆もまた同様である。

【0078】

第1の剛性層24aは、熱可塑性ポリマーおよび熱硬化性ポリマーからなる群から選択される材料で作製することができ、第2の軟性層24bは、熱可塑性ゴム、発泡ポリウレタンおよびゲルからなる群から選択される材料で作製することができる。

30

【0079】

支持する第1の剛性層24aは複数のリブ25を含むことができ、複数のリブ25は、特にパッド部品3のセクション3f1、3f2および3gにおいて支持要素2を補強するかまたは硬化させるように機能する。

【0080】

ベース部品2またはパッド部品3は、次いで、任意に内方に先細りであってパッド部品3またはベース部品2のうちの他方によって区切られたシートまたはくぼんだ部分27に、少なくとも部分的に、好ましくは完全に嵌合収容可能であるかまたは位置決め可能であるように構成されることができる。

40

【0081】

また、シートまたはくぼんだ部分27と、その中に、任意にその側壁の1つ以上の上に収容されたベース部品2またはパッド部品3とにおいて、ベース2およびパッド部品3のために、接続手段、任意に摺動接続手段を形成することができる。接続手段は、ベース部品2またはパッド部品3のうちの一方のエッジまたは側壁から延在する部分的に円錐形または切頭円錐形の構成をたとえば有する1つ以上のボスまたは突起28と、パッド部品3またはベース部品2のうちの他方に、または望ましくはその中に形成されたくぼんだ部分27に形成された1つ以上の溝とを含むことができ、突起28は、各くぼんだ部分と嵌合挿入されるように意図される。

50

【0082】

ベース部品2は、互いに摺動可能に係合され、したがって離れるようにまたは近づくように移動され、それによりベース部品2の幅を増減させることができる2つ以上の要素を含むことが有利である。互いに摺動可能に係合されたベース部品2の要素は、支持要素を厚くするか否かを決定するように、支持要素および/または鉛直面の拡大/縮小を決定するように使用時に水平な面上で摺動可能であることができる。この手段により、とりわけ、異なる寸法および/または形態のパッド部品3を支持するようにベース部品2を適合させることが可能である。

【0083】

本発明に係る支持要素は、ベース部品2とパッド部品3との間に1つ以上の中間層を含むことができることが有利であり、該1つ以上の中間層は、任意にゴムまたは同様の材料からなり、ベース部品2の上側表面2aのエッジとパッド部品3の下側表面3bのエッジとの間の空間または間隙を包囲するかまたは隠すように、かつそのような部品2,3の相対的な変位から生じる振動を抑制し、ノイズを減少させるように、これらの一方または両方の対面する自由縁の周りに部分的に延在されるように意図される。理解されるように、実際のところ、ベース部品2およびパッド部品3は通常プラスチックまたは同様の材料からなり、支持要素が自転車のサドルである場合、たとえばペダルの押圧中にこれらの相対的な変位によってきしみが起こり得る。上記の中間層は、したがって審美的および機能的な観点双方からの利点を保証することになる。

【0084】

レールRAの先端は、ベース部品2と、ねじ30を介してベース部品に固定されたプレート29などとの間でも固定され得る。この解決策により、レールRAの挿入に伴って支持要素の部品の変形が回避されることが可能となる。

【0085】

理解されるように、本発明に係る支持要素は、交換可能なパッド要素または1つ以上の備品を、迅速、容易、かつ安定したやり方で拘束することを可能にする。

【0086】

また、本発明に係る支持要素は、ベース部品およびパッド部品が取外し可能に係留されることを可能にし、確実な係留をもたらしつつ、工具、たとえばドライバーの必要なしに、かつ迅速なやり方で、手作業によりそれらを拘束し解放することが可能である。

【0087】

これにより、とりわけ、ユーザが望むときは常に、ベース部品なしにパッド部品をユーザが容易に解放し持ち運ぶことが可能となる。これは特に、支持要素がサドルである場合に有利であり、その場合、自転車またはサドルの想定される窃盗を可能な限り制限するように、ユーザ(サイクリスト)は、自分の車両を駐車するたびにパッドをベースから、したがって自転車から取外すことができる。

【0088】

本発明に係る支持要素が複数のパッドのための1つ以上の標準的なベース部品を含む特定の場合、ユーザは、ベース部品2が購入されると、所望のパッド部品3を、よって好ましい寸法、高さおよび構成で用いることを決定することができる。

【0089】

これにより、環境上の観点からも、パッド部品がより大きな摩耗を受ける部品であることを考慮に入れ、決定的に破損され、使用可能でなくなると、ユーザは同じベース部品を保持しつつ、それを除去し新しいものに取り替え、したがって除去され廃棄される要素を減少させることができることを含む明確な利点が保証される。また、理解されるように、取外し可能な係留手段を設けることにより、従来の解決策と比較してより容易かつより安価なやり方でパッド部品を廃棄することができる。

【0090】

上記のベース部品の使用に由来する別の利点は、たとえばパッドの快適さおよび形態という審美的または機能的なユーザの要望を満たす支持要素をユーザが実現することができ

10

20

30

40

50

るということにある。

【 0 0 9 1 】

また、ベース部品に関する限り、単一の生産ラインを設け、各々異なるベース部品または本体が設けられた様々な種類のサドルのために区別された生産ラインを有する必要性を回避することが可能であるため、生産上の利点が得られる。

【 0 0 9 2 】

また、1つまたはせいぜい2つのベース部品2から始まり、事実上すべての種類、たとえばレースタイプ、いわゆる「運動競技」タイプ、レジャータイプ、または、いずれにせよいわゆる「適度なリラックス」タイプのサドルを実現することが可能である。

【 0 0 9 3 】

好ましくは、2種類の標準的なベース部品は、一方にフォークまたはレールのための接続要素が設けられ、衝撃吸収要素がなく、他方は、任意にフォークまたはレールとそれぞれのベース部品との間に介在された、ばね、たとえばカップ状または螺旋形のエラストマーなどといった衝撃吸収要素を固定するように適合され得る。

【 0 0 9 4 】

請求項によって規定される保護の範囲内において、発明の修正および変形が可能である。

10

【 図 1 】

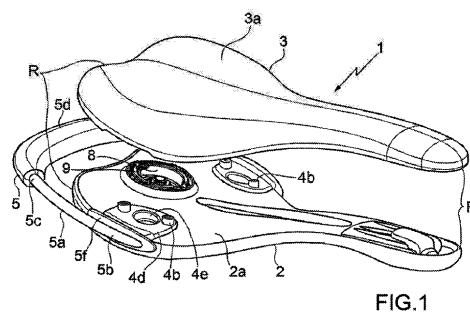


FIG.1

【 図 2 】

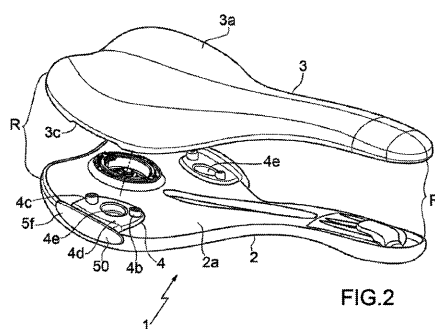


FIG.2

【 図 3 】

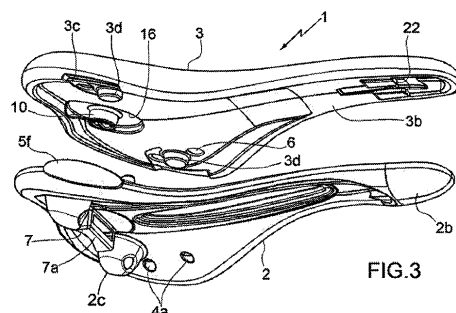


FIG.3

【 図 4 】

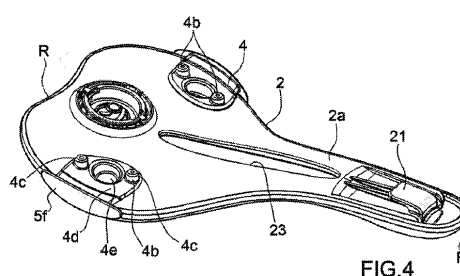


FIG.4

【図 5】

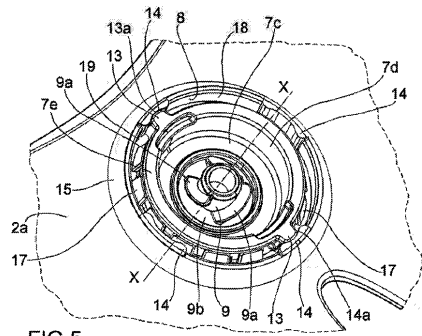


FIG.5

【図 6】

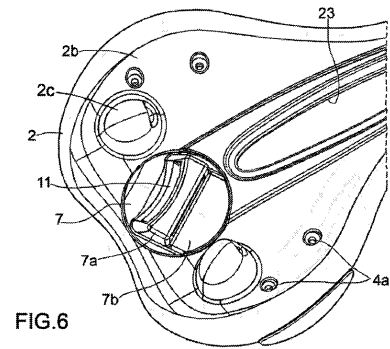


FIG.6

【図 7】

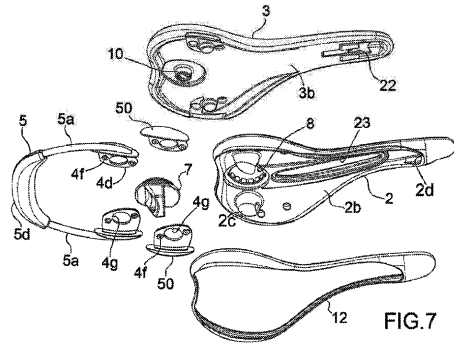


FIG.7

【図 8】

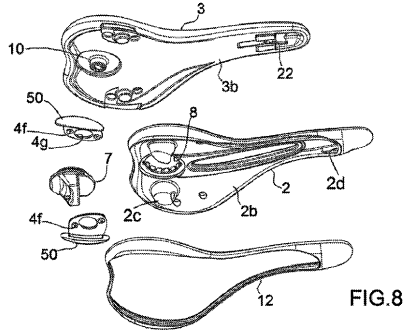


FIG.8

【図 9】

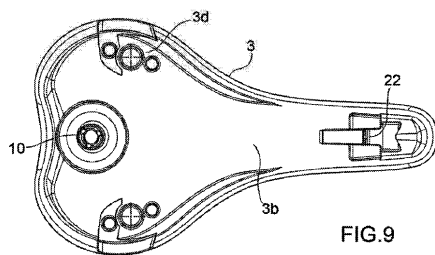


FIG.9

【図 11】

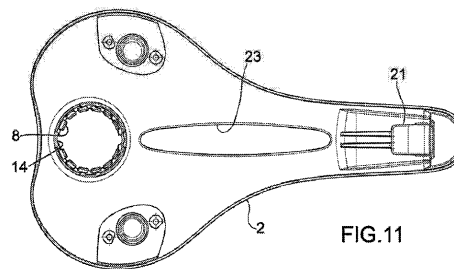


FIG.11

【図 10】

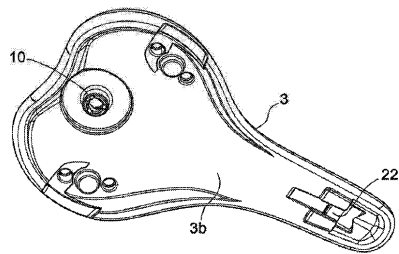


FIG.10

【図 12】

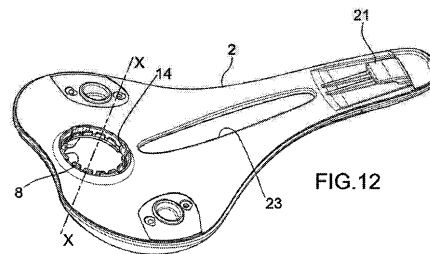


FIG.12

【図13】

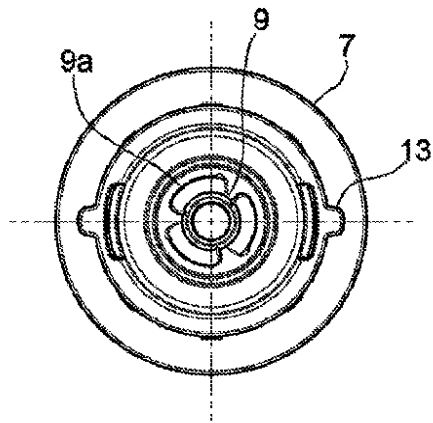


FIG.13

【図14】

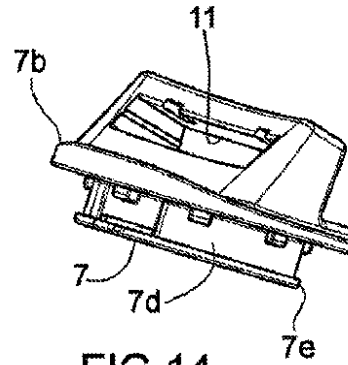


FIG.14

【図15】

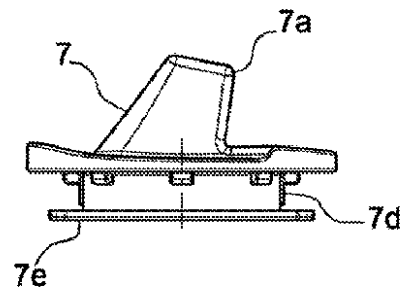


FIG.15

【図16】

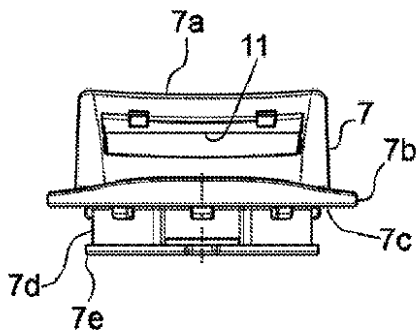


FIG.16

【図18】

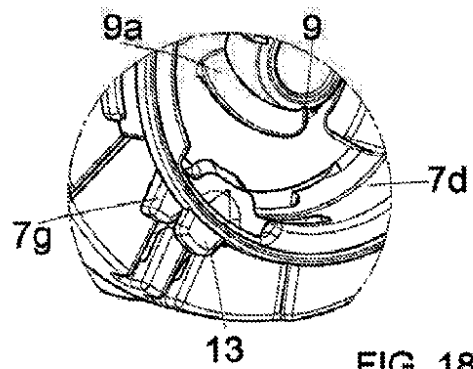


FIG. 18

【図17】

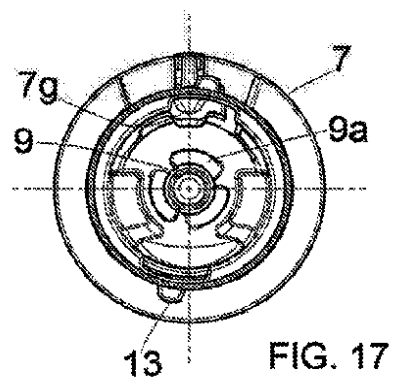
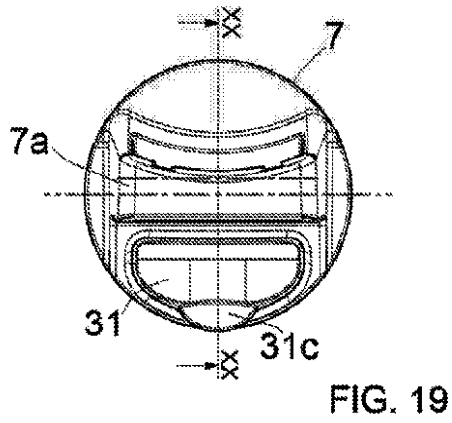
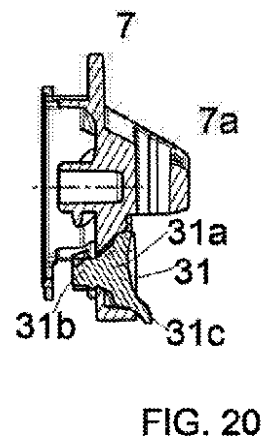


FIG. 17

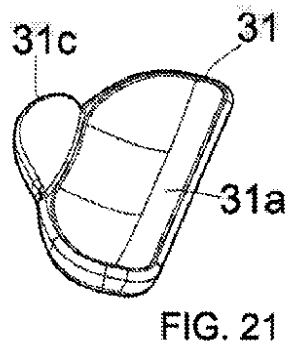
【図19】



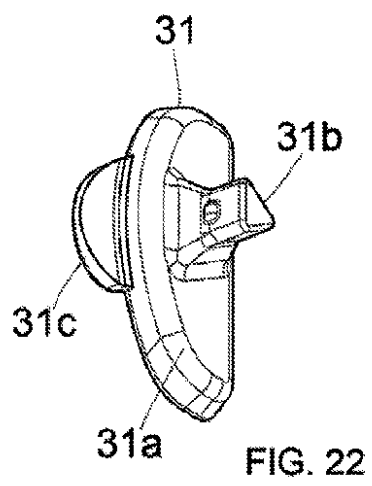
【図20】



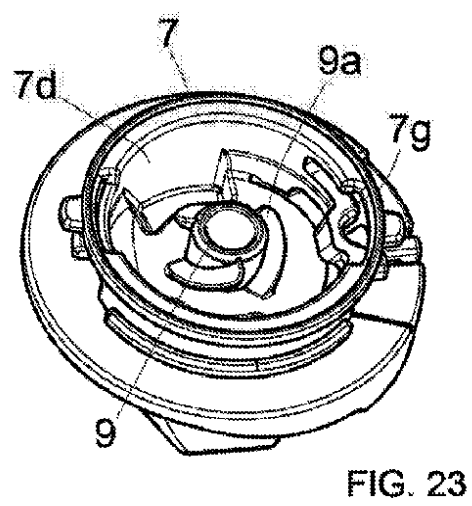
【図21】



【図22】



【図23】



【図 24】

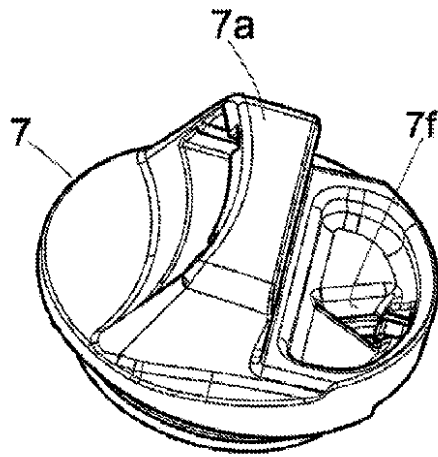
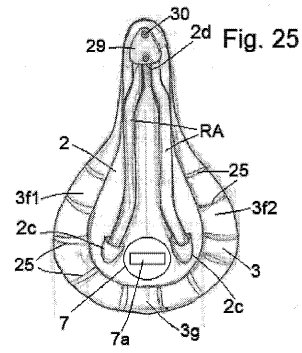


FIG. 24

【図 25】



フロントページの続き

- (72)発明者 ケッキン, クラウディオ
イタリア、イ - 3 6 0 5 0 ポッツォレオーネ (ピチェンツァ)、ピア・ピットリオ・エマヌエー
レ、1 1 9、セレ・ロイヤル・ソシエタ・ペル・アチオニ内
- (72)発明者 マルファッティ, マルコ
イタリア、イ - 3 6 0 5 0 ポッツォレオーネ (ピチェンツァ)、ピア・ピットリオ・エマヌエー
レ、1 1 9、セレ・ロイヤル・ソシエタ・ペル・アチオニ内

審査官 米澤 篤

- (56)参考文献 登録実用新案第 3 1 1 3 2 3 1 (J P , U)
特開 2 0 0 4 - 7 3 8 4 6 (J P , A)
特開 2 0 1 1 - 2 7 2 3 2 (J P , A)
実開昭 6 2 - 1 8 2 8 4 (J P , U)
米国特許出願公開第 2 0 0 9 / 0 1 0 8 6 4 3 (U S , A 1)
米国特許出願公開第 2 0 0 9 / 0 1 8 9 4 2 1 (U S , A 1)
実開昭 4 9 - 7 4 6 5 1 (J P , U)
米国特許第 7 7 1 7 5 0 5 (U S , B 2)
特開 2 0 0 1 - 6 9 6 4 1 (J P , A)